

宮城県感染症発生動向調査情報(第42週)

宮城県【平成25年10月24日】発行  
宮城県保健環境センター  
TEL (022)257-7228

- 2013.10.14 ~ 10.20 ・ 第42週 -

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							宮 城 県 (含む仙台市)						
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第39週	第40週	第41週	第42週
水痘	1 0.20	15 1.50			2 0.67	3 0.60		13 0.50	34 0.59	2,693	→	○→	○→	○
流行性耳下腺炎	3 0.60	1 0.10		1 0.50	2 0.67	1 0.20	6 3.00	2 0.08	16 0.28	906	→	→	→	
百日咳											→	→	→	
感染性胃腸炎	8 1.60	10 1.00	5 1.00	7 3.50	8 2.67	3 0.60		33 1.27	74 1.28	12,861	◎→	◎→	◎→	◎
手足口病	18 3.60	26 2.60	11 2.20	7 3.50	8 2.67	15 3.00	2 1.00	58 2.23	145 2.50	4,092	◎→	◎→	◎→	◎
伝染性紅斑	1 0.20	2 0.20			8 2.67			3 0.12	14 0.24	535	→	→	○→	レ
突発性発しん	4 0.80	7 0.70	4 0.80	1 0.50	3 1.00	5 1.00	1 0.50	14 0.54	39 0.67	1,556	○→	○→	○→	○
ヘルパンギーナ	2 0.40	7 0.70	4 0.80			1 0.20		7 0.27	21 0.36	2,060	○→	レ→	レ→	レ
インフルエンザ											→	→	→	
咽頭結膜熱								2 0.08	2 0.03	682	→	→	→	
流行性角結膜炎		2 0.67				1 1.00			3 0.25	138	→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3 0.60	8 0.80	2 0.40	1 0.50		13 2.60		12 0.46	39 0.67	3,996	○→	○→	◎→	○
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→	
無菌性髄膜炎								1 0.20	1 0.08	11	→	→	→	
マイコプラズマ肺炎		3 3.00	2 2.00				8 8.00	1 0.20	14 1.17	760	→	→	→	
クラミジア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→	
RSウイルス感染症	7 1.40	8 0.80		2 1.00	3 1.00	3 0.60		9 0.35	32 0.55	779	○→	○→	○→	○
【拡 張 疾 病】								◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向						
不明発疹症								【週報の詳報】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 <a href="http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/">http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/</a>						
感染性胃腸炎(ロタウイルス)※														

※ 法改正により、平成25年10月14日からロタウイルスが原因の感染性胃腸炎について、基幹定点より報告を求めることになりました。

定点把握の対象となる5類感染症(全国 第40週)

(国立感染症研究所感染症情報センターホームページより抜粋)

**インフルエンザ**: 定点当たり報告数は第37週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(1.00)、栃木県(0.21)、島根県(0.16)である。**RSウイルス感染症**: 報告数は3,248例と増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約74%を占めている。**咽頭結膜熱**: 報告数は3週連続で減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は宮崎県(1.42)、熊本県(0.98)、大分県(0.92)である。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**: 報告数は増加した。都道府県別の上位3位は山形県(1.90)、長野県(1.85)、山口県(1.81)である。**感染性胃腸炎**: 報告数は増加した。都道府県別の上位3位は宮崎県(7.50)、大分県(6.86)、茨城県(6.03)である。**水痘**: 報告数は増加した。都道府県別の上位2位は新潟県(1.11)、長崎県(1.11)、宮崎県(1.11)、鹿児島県(0.84)である。**手足口病**: 報告数は3週連続で減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は北海道(4.96)、鹿児島県(3.69)、山形県(3.43)である。**伝染性紅斑**: 報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は岩手県(0.28)、宮城県(0.26)、新潟県(0.13)である。**百日咳**: 報告数は減少した。都道府県別の上位3位は大分県(0.08)、長崎県(0.07)、岡山県(0.04)である。**ヘルパンギーナ**: 報告数は第31週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は北海道(1.33)、秋田県(0.71)、宮城県(0.69)である。**流行性耳下腺炎**: 報告数は増加した。都道府県別の上位3位は福井県(1.05)、高知県(1.00)、福島県(0.96)である。**マイコプラズマ肺炎**: 報告数は増加した。都道府県別の上位3位は青森県(2.00)、富山県(1.20)、岩手県(1.16)である。

\* 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所))の集計結果です。  
( )内の数字は定点当たり報告数となります。

今週の全数報告疾病

1類感染症: 報告なし  
2類感染症: 結核

大崎管内 男性1名  
石巻管内 男性1名  
仙台管内 女性1名

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O126)  
石巻管内 女性1名  
腸管出血性大腸菌感染症(O26)  
仙台管内 女性1名

4類感染症: 報告なし

5類感染症: アメーバ赤痢  
栗原管内 男性1名

※男児、女児は6歳未満

今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

今週の感染症のコメント

- 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 -

[手足口病]

仙南、塩釜、大崎、栗原、仙台管内で警報継続中。

[伝染性紅斑]

登米管内で警報継続中

【病原体検出情報】

～仙台医療センターウイルスセンター～

	第40週採取分 (9.30～10.6)	第41週採取分 (10.7～10.13)	第42週採取分 (10.14～10.20)
バラインフルエンザウイルス2型	1件	0件	0件
バラインフルエンザウイルス4型	1件	1件	0件
RSウイルス	0件	2件	0件

【ノロウイルスによる感染性胃腸炎・食中毒について】

ノロウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒は冬季に多発し、感染症対策や食中毒予防の観点から重要な問題となっています。県においては、今のところ患者数はほぼ例年並で、流行の兆しはまだありませんが、毎年10月中旬頃から増加し、年末には警報開始基準値である1定点あたり20人を超える流行となりますので、今後注意が必要です。

詳しい情報は、宮城県疾病・感染症対策室HPあるいは厚生労働省のHPを参照してください。

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/situkan/miyagikansenjyohouonrou.html>

<http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html>

